



# 熊山町立図書館

## 新館紹介



No. 89

赤磐郡熊山町は岡山県の南西部に位置し、町南部を県三大河川の一つの吉井川が流れ、その美しい流れと、ミステリアスな石積遺構で有名な霊峰熊山（五〇八m）をはじめとする山々に囲まれた緑豊かな自然に包まれた静かな町です。

町の西部には、山陽町にまたがる大規模な住宅団地が広がり、人口増加率では岡山県内でも有数な町となっています。

さらに、熊山町は日本を代表する女性詩人・永瀬清子の故郷でもあります。

現在、熊山町ではこの偉大な女性詩人を称え「永瀬清子の里づくり」事業を進めており、その一環として「永瀬清子展示館」を設置し、詩人・永瀬清子の足跡を展示しています。その熊山町に、平成十三年九月一日、町民待望の図書館が誕生しました。

といっても、私達の町の図書館は他の図書館と異なり、新館を建設してのオープンではなく、図書館とし

ての機能と働きを可能にし、住民サービスを充実させていくことを目的とした従来の図書室を条例設置により、図書館へ格上げしたという図書館です。

現在の蔵書数は約三万三千冊で、そのうち約四割が絵本・紙芝居を含む児童書です。

また、利用の多い雑誌類は、一般・児童あわせて六十タイトル、ビデオは児童向けアニメーションを中心に約三百本、CDはクラシックを中心に約百枚となっています。

ビデオ・CDに関しては、まだ数も少ないため一家に一本としていますが、図書は一人十冊までご利用いただけるようにしています。

利用者の割合は高齢化が進んでいる町ですので、やはり高齢者が多くなっています。



しかし、土・日曜日の開館日になるとお父さんも一緒に家族連れの来館が多くなっています。

狭い閲覧コーナーの片隅で子どもさんを膝に抱いて、読み聞かせをしているお父さんやお母さんの微笑ましい姿も見られるようになってきています。

そんな熊山町立図書館ですが、先日開館一周年を迎えることができました。

この一年で図書館間の相互貸借・複写サービスなど従来の図書室では不可能だったことが可能になっていることが、すこしずつ利用者の皆様へ浸透してきており、お喜びの声もいただけるようになりました。

いよいよ次は、利用者の立場に立つた、愛される図書館の建設です。

近い将来、前述しました詩人・永瀬清子の記念館との複合施設として新図書館も建設予定で、現在その建設へ向けてさまざまな準備を進めているところです。

乳幼児から高齢者まで、すべての町民の生涯学習の拠点施設として、さらに本を通し、暖かい心のかよったきめ細かいサービスができる、親しまれ愛される図書館づくりをめざして、これからも力一杯努力していきたいと思っています。

### 利用案内

**所在地** 赤磐郡熊山町松木六二三  
**電話** 〇八六九一五一一二七三  
**FAX** 〇八六九一五一一八〇一  
**交通** JR山陽本線「熊山駅」下車 徒歩約二十分  
**開館時間** 午前九時～午後五時  
**休館日** 毎週水曜日。第一・三以外の日曜日、及び第一・四以外の土曜日。祝日。年末年始。

### 新館紹介

# 勝中央図書館

岡山県の北東部に位置する勝中央町は、那岐山から南に延びるゆるやかな丘陵地に開けた町です。勝中央図書館は、勝中央文化施設整備事業の一環として、平成十四年八月一日に仮オープンしました。平成十五年度には、美術館が併設される予定となっており、正面玄関と事務室が共有スペースになります。本来はお話しコーナーとして利用者に開放するスペースを事務室として利用し、入口を

東に設けているため仮オープンとなっています。



県内では珍しい「木造平屋建て瓦葺」建築で、木の香りが広がり、絨毯張りの館内はとても暖かい雰囲気になっています。また、天井が吹き抜けになってるので、開放感がありゆったりとくつろげます。延床面積は約七百十五㎡あり、書架は木製でリングが熟れてほのかに赤みがかったような色調で、桃色の絨毯にとってもマッチしています。最大収蔵冊数は開架約四万冊・閉架約三万冊です。開館時は、約二万五千冊でスタートしました。

ワンフロアの館内には、様々なコーナーを設けています。

AVコーナーでは、ビデオ一台、DVD二台、CDウォークマン三個を設備し、どなたでも視聴できるようになっています。

インターネットコーナーでは、四台のパソコンに親しむことができ、小学生に好評です。AVコーナーとインターネットコーナーは、大人から子どもまで幅広く利用があり、共に人気で順番待ちになることも珍しくありません。

畳コーナーでは窓に向かって読書できる「掘りこたつ式」の机があり、小中学生が勉強したり、お年寄りの方が読書するのに最適のスペースになっています。



カーペットコーナーとお話しコーナーは、隣接しており、靴を脱いであがるようになっています。カーペットコーナーでは触れ合いながら絵本の読み聞かせをしている親子や、孫に紙芝居を読んでいる方の姿があり、大好評です。お話しコーナーは、独立した部屋になるようドアで仕切ることができ、中で読み聞かせや、ブラックスシアターなどができる構造になっています。

郷土資料コーナーでは、勝中央町誌はもちろんのこと、岡山県史をはじめ、県内の各市町村誌(史)を閲覧することができま



図書館は、町の中心地にあり、役場と総合保健福祉センターと隣接し

## 利用案内

ています。また、小学校や高校が近く、中学校においても、自転車で五分程の距離にあるため、平日でも学校の帰りに図書館に立ち寄る児童・生徒もたくさんいます。土・日曜日は、社会人の方をはじめ家族で来られる方も多く見られます。

開館して約二ヶ月が経ちますが、まだ図書館に来たことがない方や自分は図書館とは無縁だと思われる方が大勢いらっしゃると思います。そういった方でも、少し時間があるから図書館に行ってみようかと思うような、気軽に立寄ることができると図書館づくりを目指していきたいと思えます。

所在地 勝田郡勝央町勝間田二〇

七―四

電話 〇八六八―三八―〇二五〇

FAX 〇八六八―三八―〇二六〇

開館時間 午前十時～午後六時

休館日 毎週月曜日。祝日・休日。

第三日曜日。月末。年末年始。特別館内整理日。

## 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画について

平成14年8月2日に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定されました。ここにその概要をご紹介します。なお、全文をご覧になりたい方は、文部科学省のホームページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

## 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要

- ・子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、**環境の整備を推進。**
- ・**おおむね五年間（平成14年度～平成18年度）**にわたる施策の基本的方向と具体的な方策。

## 《家庭、地域、学校を通じた、子どもが読書に親しむ機会の提供》

家庭教育に関する学習機会等を通じた、親に対する、読書の重要性の理解の促進  
 図書館等でお話し会などの活動や関係機関と連携した取組の充実  
 「子どもゆめ基金」の助成による、民間団体の活動の支援  
 学校における学習活動を通じた読書活動の推進  
 学校における「朝の読書」の奨励や目標を設定すること等による、読書習慣の確立

## 《図書資料の整備などの諸条件の整備・充実》

図書館や公民館図書室など地域における読書環境の整備  
 図書館の図書資料の整備や情報化の推進  
 図書館司書の養成・研修の充実と適切な配置  
 学校図書館図書整備5か年計画による図書資料の計画的整備（公立義務教育諸学校について、平成14年度から毎年約130億円、5年間総額約650億円の地方交付税措置）  
 学校図書館の情報化の推進  
 司書教諭の発令の促進、学校図書館担当事務職員の配置やボランティアの協力

## 《学校、図書館などの関係機関、民間団体等が連携・協力した取組の推進》

図書館を中心とした他の図書館、学校図書館、保健センターなどの関係機関、国際子ども図書館等との連携・協力。地域の推進体制の整備等

## 《社会的気運醸成のための普及・啓発》

子ども読書の日（4月23日）を中心とした全国的な啓発広報  
 文部科学省の専用ホームページによる関連情報の広範な提供

本計画に掲げられた各種施策の実施のため、必要な財政上の措置を講ずるよう努める。

ウチの

## ディスプレイ 第1回

## 柵原町立図書館

禾本 美紀

「子どものための図書館」として開館して三年目。日々の業務に追われ、なかなか凝ったディスプレイができないのですが、ボランティアの方々の力をお借りして、子どもたちに喜んでもらえるよう工夫しています。

図書館ボランティアの飾り付け係の方八名は発想がダイナミック。しばしば壁面を飛び出して、柱・ガラス・ドアのわくまでどんどん飾り付けてしまいます。毎年夏には、ピニールのすだれが登場します。空調の風にサラサラとゆれて涼しげでしょう。



時には図書館に収まり切れず（フロアは余裕がある方なのですが）口

ビーに飾ることもあります。開館記念日には風船がいつぱいのアーチを作っていたきました（時々パンと風船がわかれてビックリ）。雪だるまクンは身長一六〇センチ、ダンボールの骨組に紙のお花がびっしり貼り付けてあります。初めは赤い帽子でクリスマスに登場しましたが、五月にはかぶとをかぶって子どもの日を祝いました。



こんなふうにも何度も使い回すのがボランティアさんのえらいところ。

何しろ予算は限られるし、スケールが大きいので一つ作るだけでも大変他にも二メートルを超えるダンボールの大きな木（立体的で自立します）もあり、季節ごとに若葉・虫・どんぐり・雪と貼り変えています。

飾り付けのもう一つの特徴は、何でも材料にしてしまう主婦の知恵。青いゴミ袋がプールになったり、包装紙や紙ひもも捨てられません。そう言えば雪だるまが着ているハカマ

も実はゴミ袋。写真の壁面飾りは、本物のススキの穂と落ち葉を使っています。



町内の保育所や幼稚園の先生方のご協力で、使わなくなった人形や飾りをいただくこともあります。また中学生の職場体験学習や夏休みに実施している一日図書館員の子どもたちにも、作ってもらいます。

こうして皆さんたちのおかげで、季節感のある楽しい雰囲気を作っています。でも何しろ勉強不足、素敵なディスプレイがあったらぜひ教えてください。他の図書館の皆さんに少しでも参考になる点があれば幸いです。

（のぎもとみき）

会員の声 1

もう少し色々なアプローチをして、自分なりの答えを得られたときの喜びを知って欲しいと思うこの頃です。そのためにもっと我々を利用して、我々をも鍛えて欲しいと思っております。(いがさきなおこ)

開館一年を迎えて思うこと  
中国学園図書館 菜崎 直子  
本学図書館が新館オープンして一年たちました。明るくきれいな環境で、学生の利用は二・三倍に増えていきます。最も人気のあるのがインターネット検索コーナーで学生がいない時間がないほどよく使われています。  
そこで気付いたのは、課題の答えをインターネットに求める学生の多さです。インターネットは便利なツールですが、その情報は玉石混交です。その情報をきちんとした資料で確かめることなく使っているようなのです。また、「とはx」というように、答えがズバリ載っている資料を求める学生も増えていきます。もちろん図書館員が見落としているような資料を探し出してくる学生もいるのですが、安直に答えを見つけたがるのはインターネットや受験用参考書に慣れてしまっているからなのかもしれません。  
大学図書館の図書館員としては、

会員の声 2

日々の業務の中で、利用者の要望やレファレンス等を伺いながら図書館も人も少しずつですが成長しつつあります。  
大変なことです。続けていくことの大切さを実感しました。(おおもりなおこ)

今までを振り返って  
備前市立図書館 大森 直子  
司書になって六年目になります。市立図書館といっても、実際は一人六人で仕事をしている小さな図書館です。  
最初の年は(今でも)分からないことだらけで、相互貸借などで他館の方に大変お世話になりました。二年目からは、もっと多くの人に図書館を知ってもらおうと、絵本展や古本リサイクル市など当館としては初めての企画をいろいろさせてもらいました。その頃始めた読み聞かせ会はボランティアの方々の協力もあり、今も続いています。  
また、計画してから三年目にしてやっと去年からコンピュータが導入され、サービスがスムーズに行えるようになりました。  
現在では、ボランティアの人数も増え、図書館の行事も定着してきました。最初の頃より親子連れの利用者も多くなつたと感じます。いろんな人がいるんな形で図書館に関わってもらえたらいいなあと思います。

会員の声 3

こうなつたら、人海戦術あるのみ。みんなでやれば、すぐ終わる。名付けて「書庫内清掃友の会」!  
「友の会」会員募集中!  
……夢と知りつつ、つい考えてしまふ今日この頃である。(かんだゆか)

書庫内清掃友の会  
県立岡山南高等学校 神田 有香  
「……ここは書庫?」  
春、初めて本校書庫内に立ち入った私の第一声である。書庫内を見渡せば、入口付近に壊れた扇風機、割れた棚板、ストープなどが置いてある。本はもろろん山ほどあつたがその半数は、背が読めないほど古い。書架の間には箱詰めされた本が山積みである。  
「なんとかしないと!」と思つたのはいつのことか。学校図書館は私が思つていた以上に多忙で、書庫は依然物置のよう。片付くどころか開架スペースの確保のため古くなつた本たちを箱に詰め、書庫送りにする始末。今は、もう秋甘かつた。長年にわたり蓄積されたものが、そう簡単に片付くわけがない。しかしこのままではいけない。書庫が「書庫」として機能しなければ、今書庫にある資料を蔵書として活かすことはおろか、本来書庫入れして活用すべき本たちまでが除籍の対象になりかねない。

会員 消息

入会個人

- 齊藤 歳昭(県総合文化センター)
- 溝口 真澄(県総合文化センター)
- 古南 倫子(岡山市立中央図書館)
- 原田 聖子(岡山市立中央図書館)
- 渡邊 絵里(岡山市立中央図書館)
- 池田 桂子(岡山市立幸町図書館)
- 栗田 千晶(岡山市立幸町図書館)
- 森本 真純(岡山市立西大寺図書館)
- 松本 博志(津山市立図書館)
- 峠 誠次(玉野市立図書館)
- 岡堂 孝志(笠岡市立図書館)
- 妹尾フユ子(井原市立図書館)
- 青山 隆(備前市立図書館)
- 杉山久美子(建部町立図書館)
- 赤井マズ子(瀬戸町立図書館)
- 清水 房恵(鴨方町立図書館)
- 高田 弘康(里庄町立図書館)
- 田村 知子(勝央図書館)
- 岡田 信義(金光図書館)
- 角房 洋子(就実女子大学図書館)
- 作野 裕美(就実女子大学図書館)
- 松葉 久樹(倉敷芸術科学大学図書館)
- 上島 孝久(中国学園図書館)
- 土谷由美子(中国学園図書館)
- 平野 豊(岡山学院大学・岡山短期大学図書館)
- 平松 暁子(県立児島高等学校)
- 小郷 文子

- 岸本佐英子
- 田辺 恵
- 藤田 京子
- 堀江 潤子
- 入会施設
- 熊山町立図書館
- 勝央図書館
- きらめき広場・哲西町図書館
- 長船町中央公民館
- 退会個人
- 片山 一生(県総合文化センター)
- 佐藤 公美(県総合文化センター)
- 掛橋 明子(県総合文化センター)
- 満藤 正子(岡山市立中央図書館)
- 小野 郁子(岡山市立幸町図書館)
- 杉田 健一(岡山市立幸町図書館)
- 武内 時雄(倉敷市立中央図書館)
- 佐々木弘江(倉敷市立中央図書館)
- 守分 宏享(倉敷市立中央図書館)
- 上田井理恵(津山市立図書館)
- 小林 明(玉野市立図書館)
- 原田 宜典(井原市立図書館)
- 井上千佳子(備前市立図書館)
- 荒島恵美子(鴨方町立図書館)
- 長代 英雄(里庄町立図書館)
- 上原なつみ(奈義町立図書館)
- 脇本 篤子(岡山大学附属図書館)
- 坂谷 陽子(岡山大学附属図書館)
- 植木八洲憲(岡山商科大学附属図書館)
- 白神 哲也(就実女子大学図書館)

- 瀬良 由恵(倉敷芸術科学大学図書館)
- 江島 幹雄(倉敷市立短期大学付属図書館)
- 佐藤 蕙子(中国学園図書館)
- 宇野 保子(中国学園図書館)
- 北林 晴美
- 後神代志郎
- 坂井 理恵
- 城山 学
- 蜂谷 修一

会員現況(平成十四年九月現在)

- 個人会員...三百十六名
- 施設会員...七十五館
- ランク別内訳
- A...二十一館 B...十九館
- C...三十一館 D...四館

**武内 時雄氏** 訃報  
 (前倉敷市立中央図書館館長)  
 平成十四年五月二十一日逝去  
 享年六十三歳  
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

**杉田 健一氏** 訃報  
 (岡山市立幸町図書館)  
 平成十四年四月十八日逝去  
 享年二十四歳  
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

新役員

異動・退職による役員の補充で、次の方々が選出されました。

副会長

古南 倫子(岡山市立中央図書館 館長)

渡部 秀人(早島町立図書館 館長)

上島 孝久(中国学園図書館 長)

理事

井上 章(倉敷市立中央図書館 館長)

名古 忠行(山陽学園大学図書館 館長)

石井 鎌二(川崎医療短期大学図書館 館長)

平成十四・十五年度企画委員

平成十四・十五年度の委員に次の方々が会長より委嘱されました。委員長には妹尾真理子氏、副委員長には戸嶋美江氏が選出されました。任期は平成十六年四月末日までです。

- 藤原 敏子(県総合文化センター)
- 井上真紀子(県総合文化センター)
- 浅野 靖子(岡山市立中央図書館)
- 長代八重子(倉敷市立中央図書館)
- 松永咲裕美(総社市立図書館)
- 赤井マズ子(瀬戸町立図書館)

妹尾真理子(矢掛町立図書館)  
 井上 寿美(久米南町図書館)  
 山本久美子(美作女子大学図書館)  
 戸嶋 美江(山陽学園大学図書館)  
 内田ゆかり(吉備国際大学付属図書館)

事務局から

昨年から継続していた協会創立五十周年記念事業ですが、記念誌の刊行を持って無事終えることができました。刊行に際しましてはデータ提供等、ご協力いただきました。今後ともよろしくお願いいたします。

今回の89号から会報「岡山のとしよかん」のサイズがA4に変わりました。以前よりも大きく、読みやすくなりました。

平成十四年十月三十一日  
 〒七〇〇一〇八一四  
 岡山市天神町八一五四  
 岡山県総合文化センター内  
 岡山県図書館協会  
 会長 広江 寿彦  
 ☎(〇八六)二二四一―二八六  
 (内二四五)